

経営者セミナー in オホーツク北見

東京北見会 田中聰

経営者向けのサマーセミナーを、平成23年7月1日(金)～2日(土)の2日間北見市で実施してきました。北見側からは、小谷市長、北見工大の鮎田学長、商工会議所関係者など17名。東京側からは、29社、47名が参加しました。その参加者とは、首都圏を起点としたコンピューターソフトウェア協会(CSAJ)会員の経営層の皆さんで、ほとんど北見が何処にあるかも知らない人ばかりでした。少し、いきさつをお話ししますと、数年前のこと同協会に行政会員制度があることを知り(函館市が既に会員であった)「それは、是非北見市を行政会員に…」市の手続きには時間が掛かりましたが無事会員になって頂くことが出来ました。それから、毎年CSAJの賀詞交換会には北見市長さんが参加して下さっています。次は北見市をPRしたいと思っていたところに協会事務局で行政会員の町を訪問してみようとの企画が持ち上がり、北見市は第3回目に実施されることになりました。その間に、藤澤会長の会社であるアルゴグラフィックス社も会員になって頂くことが出来ました。これで、鬼に金棒です

ね。実は、もう一つハードルがありました。市内に事業所を構えるリコーITソリューションズ社を会員に迎えることも北見市をPRするための重要なミッションでした。「北見は、たまねぎだけではないぞ」。また、同セミナーは、同行して頂いた科学技術ジャーナリストでもあり多摩大学名誉教授でもある那野比古先生が「逆転の発想 僻地のデメリットをメリットに北見市でのITベンチャー会議」として経産省の外郭団体であるVEC(Venture Enterprise Center)の先読みコラムでも報告されました。少し前置きが、長くなってしまいました。さて、私と藤澤会長は6/30前日一緒に女満別空港に降り立ちました。そのまま、北見市内のリコーITソリューションズ社に翌日の講演依頼の事前打ち合わせを兼ねて会社訪問です。ところが、偶然にも東京本社からきた同社の取締役と藤澤会長が昔の知り合いで仕事の取引関係まであったことが話題の中で判明し会話が花が咲きました。その後、北見市役所に向かい伊集院さんとの事前打ち合わせを終えて、関係者と私の行きつけの焼き肉屋山下町「鳥一」で一杯です。

いよいよ当日(7/1)となりました。市役所のバスが空港まで参加者を出迎えに行き、経営者サマーセミナーのス

タートです。最初に訪問したのは道立オホーツク食品加工技術センター視察です。加熱水蒸気での農産物加工技術を説明してもらいました。昼食はホテル黒部にてB級グルメで知れ渡った「塩焼きそば」美味かったです。日清製造の北見塩焼きそばカップヌードルがあるのを知り、東京では手に入らないと東急フーズショップで買いあさり棚が空になりました。次にピアソン記念館見学です。私も小学校以来来たことがなかったような気がします。その後、北見工業大学に向かい、高橋副学長が基調講演をして市内のIT企業(リコーITソリューションズ社とシステムサプライ社)による企業紹介が行われました。また、総合研究施設のラボ視察では工大学生と交えて研究活動報告を受けました。夕方の懇親会は「オホーツクビールファクトリー」にて開催され、小谷市長の挨拶を始め、勘定奉行で有名なオービック社の和田CSO会長や戦国シリーズのゲームソフト・コーエーの襟川会長などが参加した大変盛況な懇親会となりました。当社の北見事業所社員も全員参加で楽しい一日となった幸いです。翌日はゴルフ組と知床観光組に別れて北海道の初夏を楽しみました。参加した首都圏の経営層(社長クラスが参加)からももう

一度来てみたいとの声も聞かれ、非常によい北見PRが出来たと思えました。今回の経営者セミナーが北見産の農産物や求人活動そしてビジネスに一役買うことに繋がればと思う幸いです。



「鳥一」にて



北見工大にて